

# 日赤さいたま

JAPANESE RED CROSS SOCIETY SAITAMA



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

埼玉県支部

2021春  
VOL.

146

[特集]

東日本大震災から10年…

Rememberから、ACTION!へ

日本赤十字社  
公式マスコットキャラクター



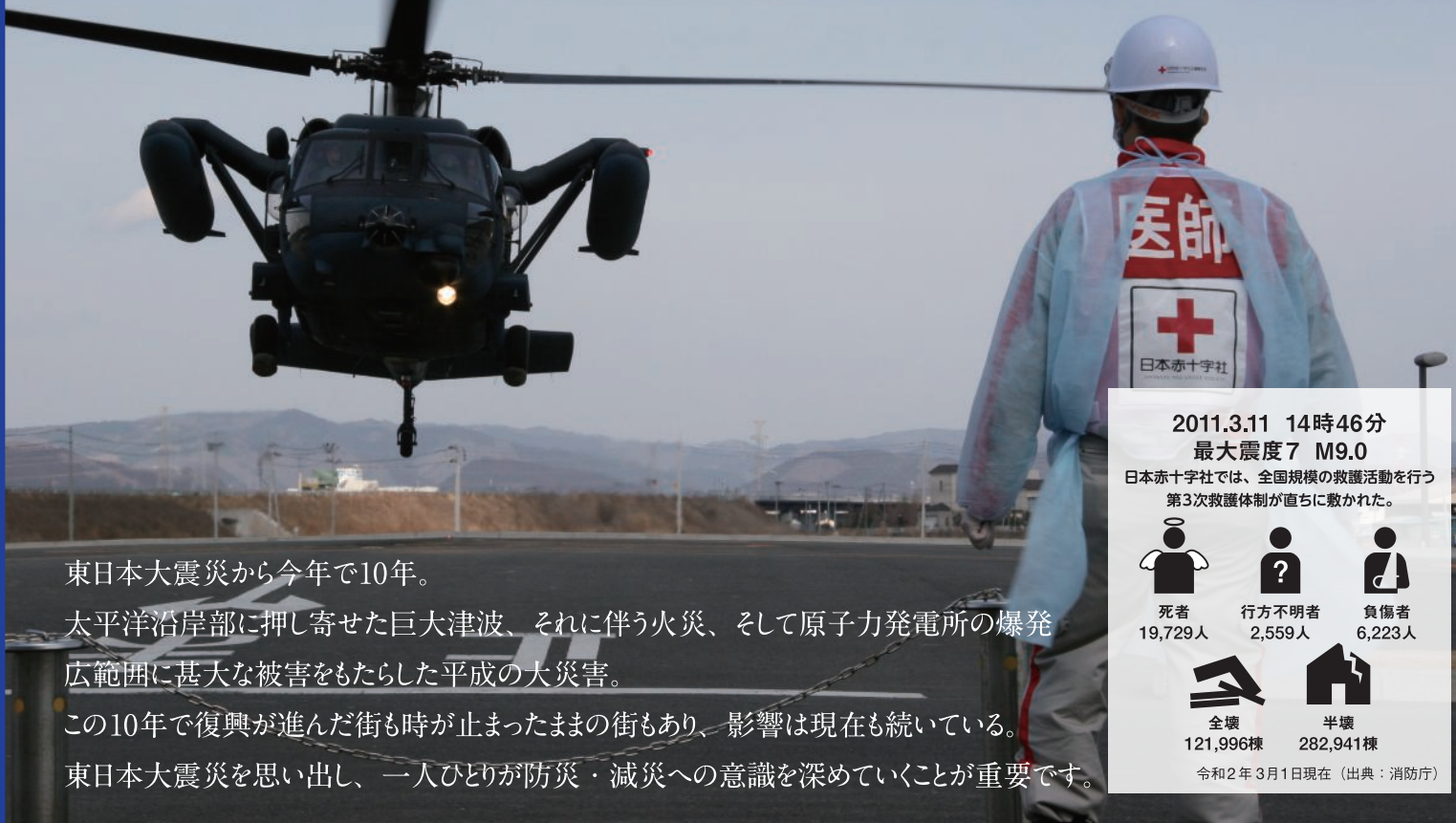
津波と火災で甚大な被害となった岩手県陸前高田市 ©Olav Saltbones (2011年3月29日撮影)

あの日の記憶を  
そして今を生きる



2011.3.11 東日本大震災から10年

# あの日の記憶を【Remember】



東日本大震災から今年で10年。

太平洋沿岸部に押し寄せた巨大津波、それに伴う火災、そして原子力発電所の爆発  
広範囲に甚大な被害をもたらした平成の大災害。

この10年で復興が進んだ街も時が止まったままの街もあり、影響は現在も続いている。

東日本大震災を思い出し、一人ひとりが防災・減災への意識を深めていくことが重要です。

2011.3.11 14時46分  
最大震度7 M9.0

日本赤十字社では、全国規模の救護活動を行う  
第3次救護体制が直ちに敷かれた。



死者  
19,729人



行方不明者  
2,559人



負傷者  
6,223人



全壊  
121,996棟



半壊  
282,941棟

令和2年3月1日現在 (出典：消防庁)



### 【全国の累計】(2011.9月末までの集計値)

派遣救護班数	約900班
派遣救護員数	約7,500人

### 【主な活動場所】

岩手県 (陸前高田市・釜石市・宮古市)
宮城県 (石巻地区)
福島県 (県北・会津地域)

### 【埼玉県支部活動概要】

派遣救護班	24班
派遣救護員	154人 (内DMAT2班)
こころのケアスタッフ	37人
被災地県支部支援	25人
被災地病院支援	45人
資材搬送	4人
防災ボランティア	268人

日本赤十字社における東日本大震災義援金は令和3年3月31日をもって終了します。受け付けた義援金は全て被災地市区町村を経由し、被災した方々のもとに届けられます。

日本赤十字社で受け付けた義援金の合計額  
**3,424億9,793万412円** (325万6,962件)

上記のうち、埼玉県支部で受け付けた義援金の合計額  
**25億553万2,431円** (1万9,810件) 令和2年12月末日現在

# あなたの備えがみんなの備えに 【ACTION!】

災害に備えて、  
準備項目をチェックする  
ことをイメージしました

災害からいのちを守り、暮らしをつなぐためには、

災害が起こってからでは遅く、事前の備えが重要です。

しかし、災害は毎年のようにこの国を襲い、備えの不足が大きな被害をもたらしています。

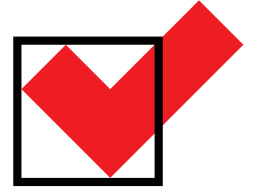
さらに、新型コロナウイルス感染症への備えも必要となっています。

一人ひとりが、それぞれの家族が、地域が、災害に備える行動を、今行って欲しい。

そのような思いから、日本赤十字社は、皆様と共に、

災害に備えるための活動「ACTION! 防災・減災」に取り組みます。

ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。



## ACTION! 防災・減災

命のために今うごく



### 令和3年3月特別企画：日本の防災・減災への意識を高めるTwitter施策を実施 「#あなたの備えがみんなの備えに」キャンペーン

「#あなたの備えがみんなの備えに」というハッシュタグをつけて、皆様が家庭や職場で取り組んでいる“災害への備え”をTwitterに投稿していただくキャンペーンを行います。

本キャンペーンでは、多くの方に投稿していただくことがとても重要となるため、「1投稿につき100円が、賛同企業・団体様から地域の防災・減災に取り組む日本赤十字社に寄付される」という仕組みを構築しています。

ハッシュタグを  
つけて投稿!



#### ツイッターイメージ



ABC @ABCDEF

自宅に用意している防災グッズを床に並べてチェックしてみました!

#あなたの備えがみんなの備えに



### 被災者を救う

災害が発生した際に、医師や看護師で編成する救護班を被災地に派遣、医療救護活動を行います。また毛布などの救援物資を被災された方々にお届けします。



### 被災者を支援する

赤十字のボランティアを被災地に派遣し、避難所での炊き出しや被災者の心のケアなど、中・長期的な支援活動を行います。



### 被害を軽減する

地域の自助・共助の力を向上するための赤十字防災セミナーや、地域を守るボランティアの育成、青少年赤十字の防災教育プログラムなどを通じて啓発を行います。

被害の軽減は個人の意識向上が必要!

# 災害発生に備えておく 防災・減災への取り組み

平成に起きた阪神・淡路大震災（平成7年）や東日本大震災（平成23年）では、死者の約9割は即死（圧死・溺死）でした。それは、いのちを救ううえで災害発生直後の応急対応の限界を示すものでした。

これらを教訓として、「防災・減災」に注力した活動を積極的に進めています。

災害が発生する前に備えておくことが大切です。

## 赤十字防災セミナーを受講し意識を高めておこう



災害図上訓練（DIG）では様々な意見が飛び交います

赤十字防災セミナーでは防災知識を向上させるだけでなく、地域の共助の力を高める「きっかけ」にしてもらいます。地域の一人一人が気づきを大切に、地域がより一体になっていくことをお手伝いします。

### 赤十字防災セミナーの概要

【セミナー対象者】町内会・自治会から小学校区程度までを範囲として、原則として一般成人の方

【メニュー】カリキュラムから組み合わせ可能

- 「災害への備え」講義：約60分  
災害の知識を深め、個人、そして地域でできることを考える
- 災害図上訓練（DIG）：約120分  
居住地域の地図を使い、災害リスクを可視化。参加者の意見交換によって気づきを共有し、地域課題に向き合う（グループワーク版と個人ワーク版があります）
- 災害エスノグラフィー：約120分  
実際の被災者の体験談を読み、災害時の状況を追体験する（グループワーク）
- 減災に役立つ実技：約30分  
日頃から準備できる減災対策の基礎知識と応急手当や避難生活に役立つ実技を学ぶ

### 青少年赤十字防災教育プログラム

## 「まもるいのち ひろめるぼうさい」



災害に向き合い被災地で活動する日赤と現場の教員の経験をまとめた教材です。

### まもるいのち

自分のいのちを守る力を身につけること。

### ひろめるぼうさい

学校、地域、家庭に防災を広めることで、防災意識を高め、周りの命を救うこと。いのちの大切さ、思いやる心を育てること。



『まもるいのち ひろめるぼうさい』は、児童・生徒が主体的に防災に取り組めるよう、「気づき、考え、実行する」力を重視し、災害時に自分のいのちを守るための「助かる力」を高めることができる教材です。

収録されている指導案やテキスト・映像教材を活用して先生が授業で活用していただくことを想定した教材ですが、赤十字職員が教材を活用した防災出前授業を行うことも可能です。

防災出前授業では赤十字職員が医療救護班として被災地で活動した際の経験や知見などをお伝えし、「防災・減災」の理解をさらに深めていただくことができます。

防災教材の貸出も  
行っています。



防災すごろく



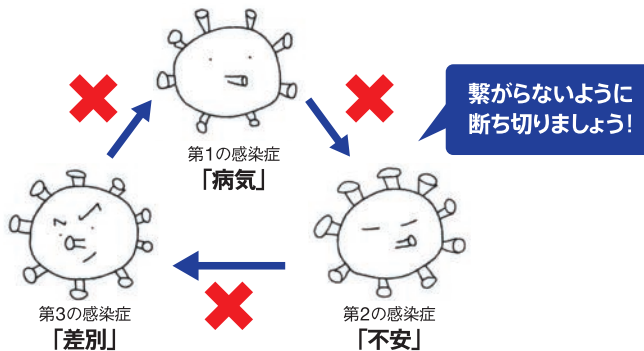
防災かるた

## 正しい知識と情報で“心”の感染を防ごう 人権教育(コロナ差別等)の展開



県内の児童生徒を中心に、PTAや教職員、地域住民などへも講演を行っています

新型コロナウイルスの感染を心配するあまり、感染者や医療従事者、その家族などに対する偏見や差別、誹謗中傷が生まれてしまっています。一人ひとりに何ができるのかを考えてみませんか。



「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～」のダウンロードはこちらから



心の感染を防ぐためのアニメーション「ウイルスの次にやってくるもの」はこちらから



## 「戦時救護班史料展」

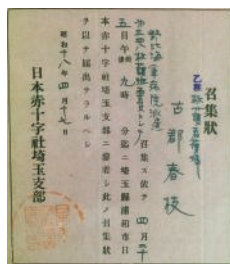
### 戦争の悲惨さと平和の大切さを

終戦から75年を迎え、戦争を体験した人が少なくなっている日本。当支部では、戦時下において、赤十字の救護員として活動した多くの人々がいたことを後世に伝えるために、「戦時救護班史料展」を開催しました。

史料展では当時の救護服や召集状、写真を展示し、さらには、当時活動していた2人の元赤十字救護員のインタビュー映像を公開しました。

### ～戦後75年の節目～

NHKの首都圏ネットワークで取り上げられました



川田さんが埼玉県支部長(大野埼玉県知事に)に展示物を説明



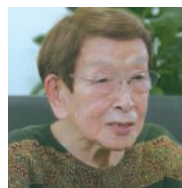
### 来場者からの言葉

「召集状等の実物を見て当時の様子が伺えました。これからは多くの方に見てもらおう機会を作ってほしいです。」

「戦時下のなかで女性の看護婦さんが活動していたことを知り胸が一杯になりました。」



木村美喜さん[第301救護班] フィリピンの陸軍病院等で救護業務に従事



川田(旧姓古郡)春枝さん[第348救護班] 野比海軍病院等で救護業務に従事

2人のインタビュー映像はこちらから!



## 令和2年度 第2回評議員会 令和3年度事業計画・予算が承認

令和2年度第2回の評議員会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文書審議において令和3年度の事業計画や事業予算が原案どおり承認されました。令和3年度も赤十字活動にご支援賜りますようお願いいたします。



- 1 活動資金収入 ..... 558,000 千円
- 2 償還金収入 ..... 200,000 千円
- 3 繰越金・その他 ..... 59,671 千円

**収入合計額 817,671 千円**



- 1 災害救護活動のため ..... 102,501 千円
- 2 国際救援活動のため ..... 3,106 千円
- 3 救急法・幼児安全法等講習普及のため ..... 55,333 千円
- 4 青少年赤十字活動のため ..... 32,616 千円
- 5 赤十字ボランティア活動のため ..... 32,603 千円
- 6 救急医療活動や看護師養成のため ..... 37,523 千円
- 7 献血思想の普及や地域社会福祉活動推進のため ..... 28,106 千円
- 8 各市区町村での赤十字活動のため ..... 60,000 千円
- 9 赤十字会員の加入促進や広報活動のため ..... 102,837 千円
- 10 施設整備のための積立金 ..... 243,000 千円
- 11 業務運営管理等のため ..... 120,046 千円

**支出合計額 817,671 千円**

## PRESENT プレゼント

### 日赤グッズ クリアファイル&ボールペン

キティちゃんとコラボしたクリアファイルとボールペンをセットでプレゼント!

クイズ:〇〇に入る数字はなんでしょう。

2021.3.11で  
東日本大震災から〇〇年

- ①氏名 ②郵便番号 ③住所
- ④年齢 ⑤性別 ⑥メールアドレス
- ⑦本紙入手場所 ⑧本紙の感想 ⑨クイズの答え

**応募締切り: 2021年5月末日**

メール: info@saitama.jrc.or.jp FAX: 048-834-1520  
はがき: 〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町3-17-1  
日本赤十字社埼玉県支部 日赤さいたま担当 あて

- 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
- いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。
- お寄せいただいたご意見、ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえで、当支部の広報活動に活用させていただく場合があります。

クイズに正解した方  
の中から抽選で  
**10名様**にプレゼント



商品提供: 株式会社日赤サービス

日赤サービスオンラインショップではその他多数の日赤グッズを販売しています。問い合わせ先: 03-3437-7515



### いろいろな形での 寄付方法のご案内



赤十字支援型  
自動販売機  
飲料メーカーの売り上げの一部が赤十字の活動資金になります。



赤十字活動資金  
募金箱  
事業者や店舗等に設置していただき、社会貢献を行っているアピールにも繋がります。



リサイクル寄付  
ご自宅等にある不要なものを査定・換金し、その一部が赤十字の活動資金になります。

※ご不明な点はお気軽にお問い合わせ下さい

日赤さいたまは日本赤十字社埼玉県支部が発行する広報紙です。この広報紙は2,000円以上のご寄付をいただいている方へお送りしているほか、市区町村の日赤窓口、赤十字施設、支部ホームページなどで閲覧することができます。なお、今後送付を希望されない方は、大変お手数ですが下記の連絡先までご連絡くださいますようお願いいたします。